

全国における先導する取り組み

全国知事会会長 平井 伸治

全国知事会 デジタル・ソリューション・アワード

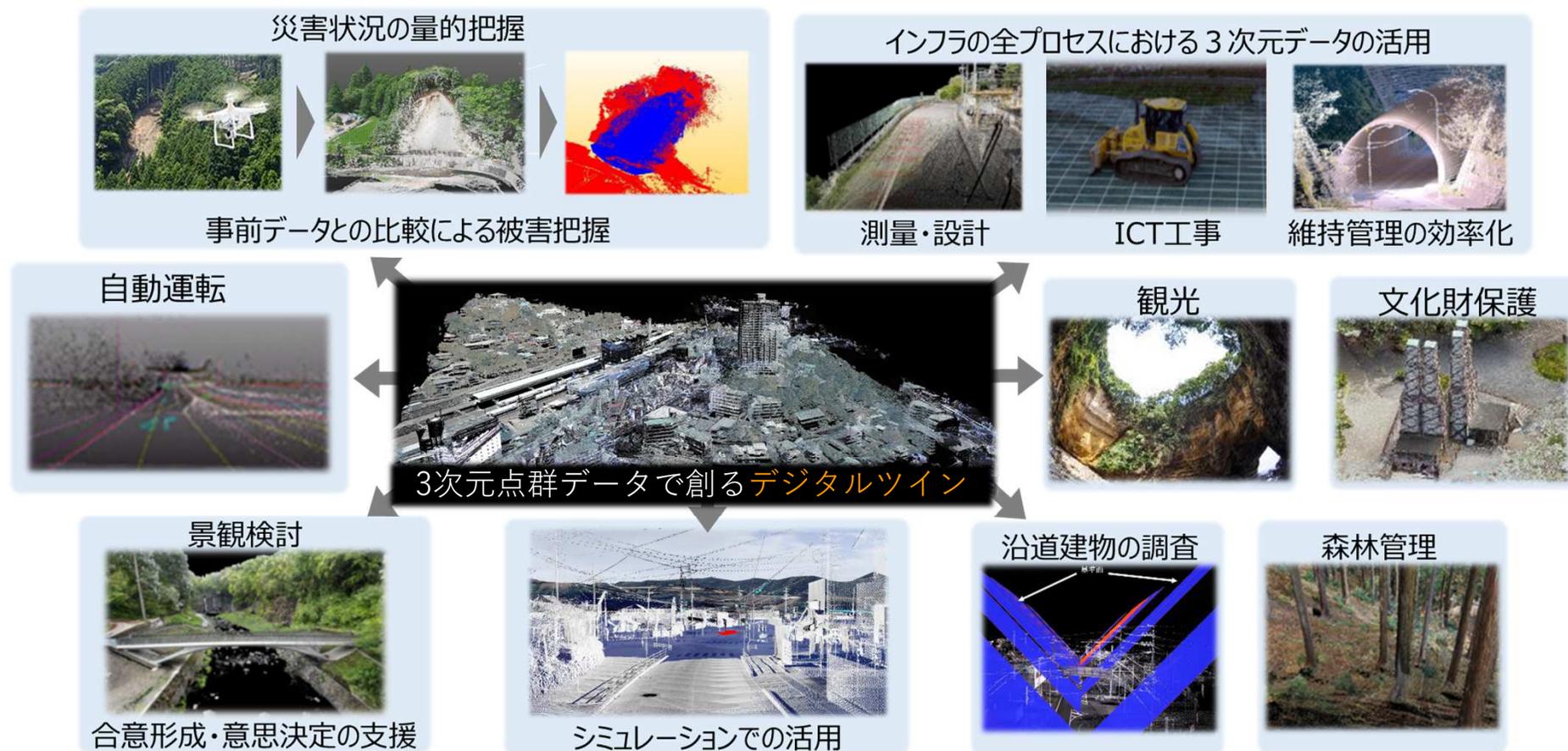
- 全国知事会では、平成18年から、各都道府県の先進的な取組を共有し、より優れた政策の実施につなげるため、その取組を「先進政策バンク」に登録。
- 約4,000件の先進的政策が登録され、毎年、優秀政策を選定・表彰。
- 令和3年には、新たな表彰部門「デジタル部門」を創設し、**デジタル・ソリューション・アワード** として表彰。
- 令和3年のデジタル・ソリューション・アワードに、**静岡県「VIRTUAL SHIZUOKA」データセットの公開**が大賞を受賞。



令和3年度 デジタル・ソリューション・アワード大賞 「VIRTUAL SHIZUOKA」データセットの公開(静岡県)

- 静岡県は、県内の現実空間を、レーザスキャナ等でスキャンした高密度な3次元点群データを取得・蓄積し、仮想空間にデジタルツインとしての県土を構築する「VIRTUAL SHIZUOKA 構想」に取り組んでいる。
- 取得したデータは「VIRTUAL SHIZUOKA データセット」として、誰もが自由に使えるオープンデータに。
- 交通や防災などの行政目的だけではなく新たな多様なサービスやビジネスの創出を目指す。

VIRTUAL SHIZUOKA構想



鳥取県の土木現場における先進技術実装

➤ 日常点検の効率化と住民通報による
損傷の早期把握と情報共有

➤ 定期走行車両の路面振動データを活用
した舗装劣化区間の抽出

現場パトロール

補修作業

住民通報

GIS上に表示された損傷位置や対応状況

＜効果＞

- ・GISで職員間・補修業者と情報共有でき、説明・移動等が不要
- ・現場で作業が完結し、事務所作業が不要
- ・短縮された時間を点検に充てられ、日当たりの点検が充実

＜現状＞大きな損傷と
なって初めて発見

＜効果＞

- ・目視では分からない損傷を把握、損傷が大きくなる前に予防保全
- ・走行するだけでデータ取得でき、舗装以外の点検に集中

※揺れの大きさで色分け
(大■、中■、小■)

➤ 橋梁点検でのUAV・ロボット技術活用によるコスト縮減と安全性向上

ロープアクセスによる点検

橋梁点検車による調査

UAV(ドローン)等の活用による写真撮影

＜効果＞

- ・安全性向上
- ・点検期間の短縮
- ・コスト縮減

江島大橋(全長1446m、高さ44.7m)

三輪型マルチコプタ

打音検査飛行ロボット

＞H30年7月に江島大橋で4社のSIP開発技術を実証実験
(ロボット技術を活用した点検指針を策定し大規模橋梁の点検を促進) 4